

---

# Anemone -雨に咲く黒い花-

白雪紅羽

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

Anemone - 雨に咲く黒い花 -

### 【Nコード】

N7522F

### 【作者名】

白雪紅羽

### 【あらすじ】

雨の葬列…自殺した”彼”の遺したもの…残された者の想い。

「涙雨だね。」

参列者の誰かがひそひそと話していた。

彼の最後は、新聞の三行に小さくまとめられていた。

小さなアパートのそれはそれは小さな一室で、彼は自らの命を閉ざしてしまった。

もうこれで、永遠に彼と会うことも、話すことも、触れることも、出来ない。

- あたしは許さないわ -

怒りとも悲しみともつかない感情が、胸にうずまいていた。

と、同時に、彼の苦しみにちっとも気付いていなかった自分が、どうしようもなく腹立たしく、無力さに絶望したくもあつた。

傘を持つ右手がとても重く感じて、放り投げてしまいたくなる。

彼が…自分に突き立てたナイフは…どのくらい重かつたのだろう。彼の流した血液は、いったいどのくらいの量だつたのだろう。

彼は、最後に何を思い、何を見て、逝つてしまったのだろう。

あたしの頭は、思考を止められなかった。

そして、すべての思考の結びには、“何故”という文字が浮かぶ。理由などあたしがいくら考えたところで、きつと彼の苦しみに追いつけないのだろうけど…それでも思考は止まらなかった。

でも、彼は、彼が残した衝撃の大きさについて考えたことがあつた

だろうか。

ここにいるみんなが、ひどく悲しみの淵にいる。

時間が経てば、日常に何の影響もないほど、古い思い出にしかならないかもしれない。

それでも、きつとみんな、思い出す。ふとした瞬間に、彼の終わりを思い出す。

少なくとも、あたしは…

あたしはあなたを許さない。こんな別れは絶対に許さないわ。

あなたは逃げたのよ。生きることから、すべてから、逃げて、一番楽な方法を選んだのよ。

そして、この結果が、これよ？

あなたの周りの人たちは、一生悲しみを抱えていくわ。あなたが大切していた人たちを、あなた自身がこんなにも傷つけたのよ？

ここにいるあたしたちの誰もが、身に着けた黒の色のように、悲しみに沈んでいた。

でも、どれだけ悲しみ、涙を流そうとも、消えた命は戻らない。もう、二度と…

彼の顔は、凄惨な情景とは裏腹に、安らかに微笑んでいた、と聞いた。

「本当に、こうなることが満足だった？」

だるそうにけぶる線香の、弱弱い煙が、写真立ての彼の笑顔を曇らせた。

あなたがそこからどんなに優しく微笑みかけても…あたしはやっぱ  
りあなたを許さない。

あたしが死んでも、生まれ変わっても、あなたの残した悲しみを許  
すことは出来ない。

こんな雨の中に狂い咲く、黒い花々のような思い出なんか…いらな  
かった…

雨の音は一段と強くなり、この世のすべてが泣いているような…そ  
んな気がした。

(後書き)

この作品には『Anemone』という、自殺した彼の”そのとき”の心情や情景を綴った話が実は前振りであるのですが、作品の荒さが目立ち、手直ししてから投稿したいと思っております。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7522f/>

---

Anemone -雨に咲く黒い花-

2010年12月31日03時47分発行